会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和6年度 第2回川西市環境審議会		
事務局(担当課)	市民環境部 環境政策課		
開催日時	令和7年3月24日(月) 14:00~16:00		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	武田会長、竹濱副会長、豊福委員、西村委員、花田委員、松原委員、藤本委員、岸本委員	
	その他	大島美化推進課長、藤田住宅政策課長、松下施設マネジメント課長、中野施設マネジメント課設備担当課長、相原教育保育課主査	
	事務局	岡本市民環境部長、人見市民環境部副部長、寺田環境政策課長、和泉主査、大田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 議事 (1) 第2回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会(川西市環境審議会部会)について(報告) (2) 川西市環境基本計画について (3) 川西市環境率先行動計画推進本部会議について(報告) 3. その他 4. 市民環境部長挨拶 5. 閉会		

<p>会議結果</p>	<p>別紙 審議経過のとおり</p>
-------------	--------------------

審議経過

発信者	発言内容
事務局	<p>次第1 開会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 開催挨拶・ 会議公開について・ マイク使用方法について・ 議事録について <p>内容</p> <p>議事録につきましては、事務局にて後日要約し、会長ご承認の上、委員のお名前は伏せた形で川西市のホームページへ公開させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 傍聴について <p>内容</p> <p>本会議は傍聴が可能な会議でございます。本日の傍聴人はおられません。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会議の成立について <p>内容</p> <p>本日の委員の出席についてですが、審議会につきましては、川西市環境審議会規則第3条第2項の規定により、委員の過半数の出席が必要とされております。ご報告となりますが、伊藤委員は市外への引っ越しにより、辞退届を提出されたことから、令和7年2月6日付で委嘱を解いております。これにより、</p>

会長	<p>川西市環境審議会委員は9名となりました。本日の出席は、定数9名に対し、8名で成立となっております。</p> <p>・会長挨拶</p> <p>内容</p> <p>お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>川西市環境審議会会長を務めさせていただきます。</p> <p>最近、気候変動が顕著になってきています。アメリカでは大火災が、日本では、岡山や愛媛、大船渡で火事がありました。これは、おそらく気候変動の影響だと思います。生物多様性でも気候変動の影響はかなり受けるのではないかと思います。</p> <p>低地の方は影響がまだ出ていませんが、高山植生には影響が出てくると思いますし、気候が変われば、乾燥する期間が長くなったり、一気に雨が降ったり、大きな影響があるのではないかと思います。</p> <p>その中で、生物多様性をどのように守っていくかということは、大切になると思いますし、生物多様性の問題は、世界的な問題ですが、守っていくのはその地域です。そのため、しっかり計画を立てて、実行していくことが重要だと思います。</p> <p>会議につきましては、円滑に進めていきたいと思いますので、皆様のご協力</p>
----	--

事務局	<p>をよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員紹介、事務局紹介 ・ 配布資料の確認 <p>ここからの議事進行は、会長にお願いしたいと思います。議事等において、意見のある委員は挙手いただき、お名前を述べられてから発言していただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>「次第 2、議事」に入ります。本日の議事は 3 件です。</p> <p>まず、議事 「第 2 回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会（川西市環境審議会部会）について」事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、議事 「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会（川西市環境審議会部会）について」報告します。</p> <p>資料 1 1「令和 6 年度 第 2 回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会 次第」をご覧ください。令和 7 年 1 月 14 日に「令和 6 年度第 2 回生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会（川西市環境審議会部会）」を開催しました。</p> <p>資料 1 2「生物多様性ふるさと川西戦略評価指標」をご覧ください。</p> <p>委員会では、評価指標や目標値について、各施策担当課に内容の再確認を行い、一部修正のあった内容や、第 1 回委員会での委員の意見質問に対する回答</p>

について、この資料をもとに説明し、委員からご意見をいただきました。

当日は、委員から自然活動団体への補助や里山体験学習のサポーターの高齢化について質問がありました。

委員からの質問に対して、事務局より、自然活動団体への補助については、「令和6年度から森林の保全に伴う資材の購入などに使えるよう補助の制度を変更している。今年度からの取組みとなるため、次年度の報告に含まれる予定である」と回答されました。また、里山体験学習のサポーターの高齢化については、所管課より「課題意識を持っており、ホームページ等で新規サポーター募集の呼びかけを行っている」と回答されました。

次に、資料1-3「生物多様性ふるさと川西戦略進捗状況調査（令和5年度）」をご覧ください。委員会では、今後の方向性や具体的施策などについて各施策担当に、実施計画や予算要求の状況などを踏まえた内容の再確認を依頼し、一部修正した内容や第1回委員会での委員の質問に対する回答について、この資料をもとに説明し、委員からご意見をいただきました。環境フェスタの開催方法について、「イベントに来てくれた人たちが自分たちの活動に興味を持ってくれるとか、関わりを持ってくれるということがあればいいが、なかなかそこまで繋がらない。自分たちが参加するメリットを感じられることをしてほしいと聞いており、主催者には、開催方法を検討していただければと思う。」や特

定外来生物の情報発信について、「最初は県に情報が行き、県から各自治体に情報発信するため、情報がダイレクトにつながりづらい。伊丹市、尼崎市など周辺自治体との情報共有をまめにしてほしい。」という意見がありました。

委員からの意見に対して、事務局より、環境フェスタの開催方法については、「各団体とも情報発信が難しいという課題があった。自然や環境について知ってもらうという目的のため、令和5年度から、「環境フェスタ」に変更し、内容では、各団体が実施する自然や環境を身近に体験できるワークショップを追加した。即効性はないと思うが、環境フェスタは、特に子どもをターゲットにしているので、フェスタに来た子どもやその親から、少しずつ自然や環境保全への意識が広がれば良いと考えている。また、振り返りとして、来場者と出展者にアンケートを実施して、その結果を各団体に共有し、協力しながら、試行錯誤のうえ、環境フェスタをよりよいものでできればいい。」と回答されました。

また、特定外来生物の情報発信については、事務局から「特定外来生物でクビアカツヤカミキリなどは情報を県が集約しているなど、今あるルールは必要と考えている。市としてもできるだけ正確な情報を早くつかむなど工夫していきたい。」と回答されました。

続きまして、その他として、「舎羅林山地区開発、市南部物流センター建設における環境アセスメントについて」報告を行いました。

舎羅林山地区開発について、「当該開発地は、環境影響評価法や兵庫県の条例の対象とはならないが、事業者が自主的に環境影響評価、いわゆる環境アセスメントを実施したうえで工事に着手している。また、環境アセスメントを進める中で、市内の自然活動団体と事業者で生態系調査を行い、重要種を市内のお寺のビオトープへ移設するなどしている。環境アセスメントの手続きとしては、今後、事後調査を行っていただく必要があるが、事業者に環境アセスメントの事後調査を確実に実施していただけるよう、令和5年9月に、市と特定目的会社を含む事業者で「舎羅林山開発事業の環境影響調査に関する覚書」を締結している。市として事後調査の結果をどのように周辺住民へ周知するかはまだ決定していないが、その時点における環境課題、市民が求める情報等の状況を考慮しながら適切に対応していくことを考えている。」と説明しています。

また、市南部物流センター建設については、「本市においては、市独自の環境アセスメントの要綱等はないが、川西市環境保全条例に事業者の責務についての規定があり、この規定に基づき、機会を捉えて事業者に対して、近隣住民や地元自治会への説明や意見交換を行い、周辺の理解を得たうえで工事を行うよう求めている。」と説明しています。

当日委員から、「ある生き物がいた時にどういう対策をするのか、どのように保全していくのかという計画が必要ではないかと思う。アセスに関わらずや

っぱり保全対策は必要ではないかと思う。」など貴重な生物の保全対策についての意見がありました。

委員からの意見に対して、事務局より「舎羅林山については、事後調査の段階しかないので、意見が言えるとかそういう次元ではないという状況である。一方で、川西市に新名神高速道路が通ったりとかいろいろな状況になっており、これからも大規模なものが建っていくことが考えられる中で、場合によっては、この委員会や委員から助言をいただくなどし、例えば貴重種保護のため調整池を作って、そこに木を張り出したりしていけば守れるのではないかといたった工夫を事業者に提案していくことなどを行っていければと思う。またいろいろとアイデアをいただきながら市の方でも考えていきたいと思っている。」と回答されました。

また、市南部物流センター建設について、「伊丹市が市独自の環境アセスメントの要綱を持っているが、川西市には市独自の要綱はない。ただし、物流センターの敷地が川西市と伊丹市にまたがっているため、事業者、伊丹市、川西市で協議して、伊丹市の要綱に基づき、敷地全体を対象にした環境アセスメントを実施する事で合意形成をし、現在進めている状況である。」と回答されました。

続きまして、「出在家町（川西北小学校横）キセラ川西の市街地水路の水生

生物群の保存のための啓発について」説明を行いました。

当日委員からは「希少生物の固有名称は出さずに「水路全体の保護をするんだよ」というところまで進めていきたい。」や「あくまで水路全体の環境、生物多様性の保全をメインとして、その結果、希少種の保護が進むという形になればいい。」「次世代の子供たちに伝えるためにも啓発は必要。」という意見や、「いろいろな生き物がいます。みんなで守りましょう。」など文言の提案の他、当該地区水路の保全に関する意見もありました。

なお、委員からの意見に対して、事務局より「掲示のデザイン等は今後検討が必要だが、掲示方法として当初はラミネート加工した紙をイメージしている。それが恒久的にあればいいということになれば、次に看板などを考えたい。令和7年度設置に向けて検討していく。」と回答されました。今後、本委員会や現地の水路で活動している団体などのご意見も聞きながら進めていくこととなりました。

続きまして、「委員会の開催計画について」説明を行いました。委員会の今後の開催回数や時期につきましては、基本、年2回とし、開催時期は8月頃と1月頃を予定していることや各回の開催内容や所管課課長等の出席について委員に諮りました。

以上で、「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会（川西市環境審議会部会）

<p>会長</p>	<p>について」の報告を終わります。</p> <p>それでは、議事 「第2回 生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会(川西市環境審議会部会)について」何かご意見等ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料 1-2 の指標 3 ですが、令和 5 年度の「3,531」という数値は環境教育を受けた数でしょうか。「3,531 人」に対して何を行ったかということが分かりにくいです。また、指標 2 の令和 5 年度の「761 人」という人数は、市立幼稚園児の人数なのでしょうか。あくまで目標値に対してどうだったかを評価するのであれば、目標値欄に目標とする数値を入れて、それに対してどう推移したかを表現すれば、この施策が上手くいっているかどうかは分かりませんが、表の見方を教えてほしいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>様々な事情で環境教育を受けることができない方がいる中で、受けることができる方全員には受けてもらうことを目標とし、受けることができる方全員が受けたという実績が毎年挙がってきていると認識しています。</p> <p>目標値を「全生徒数 人」とした場合にプライバシーの問題等があるので、全生徒数に対して何人といった表記ではなく、「対象者全員に参加いただいた」という表記にしていると認識しています。</p>
<p>委員</p>	<p>指標 15 ですが、「250」という目標値がどういう意味なのかが分かりません。</p> <p>また、支援というのは、金銭的なものを指すのでしょうか。</p>

事務局	<p>目標値は補助を受けている各団体の会員数を表しています。</p> <p>また、補助金のあり方を令和6年度から変更しています。例えば、シカのパッチディフェンス等にも使えるようにするなど、仕組みを大きく変えています。変更した内容の報告は、来年度行いますが、現在は、保険料相当が一つの目安になりますので、各団体の会員数×何円になっていると認識しています。</p>
会長	<p>続きまして、議事 「川西市環境基本計画について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、川西市環境基本計画について、説明いたします。資料2-1「川西市環境基本計画 進行管理表」をご覧ください。</p> <p>今回は令和7年度の取組みについての説明となりますので、第3次環境基本計画の進行管理指標をもとに説明します。</p> <p>表の一番上ですが、凡例として、指標を白色、黄緑色、黄色の3つの色に分けて示しています。第3次川西市環境基本計画策定にあたり、白色は前計画から継続している指標、黄緑色は、第3次川西市環境基本計画策定時に一部修正した指標で、赤字が修正した箇所を示しています。黄色は、新設した指標です。</p> <p>表について、赤枠で基準年度の令和4年度を示しています。基準年度の左に行動方針として増やす、減らす、基準達成を維持、現状維持と記載しています。</p> <p>新規項目となる黄色の網掛け部分について説明します。1ページ中程、4番</p>

「新規の農業就業者数」について令和5年度は4人となり、基準年度との合計は10人となりました。その下5番「直売所ののぼりを掲げている店舗数」は17店で基準年度と同数です。6番「1年間に捕獲した有害鳥獣及び外来生物の数(シカ、アライグマ、ヌートリア、イノシシ)」は基準年度に比べ、令和5年度は213頭と増加しています。

次に2ページ目の下側、18番「川西市は緑が豊かなまちだ」と感じる市民の割合(市民実感調査)は基準年度に比べ令和5年度は5.3%増加しました。

また、20番「ごみのリサイクル率」は0.3%減少となりました。21番「市内の公共施設における紙使用量(外注分除く)」は、基準年度に比べ令和5年度は約9%の減少となっております。また、25番「低炭素住宅認定数」は基準年度に比べ令和5年度は5件減少、26番「長期優良住宅認定数」は26件減少となっております。

次に、前回の審議会でご指摘のあった事項について、小学校3年生から5年生の取組みを計るべきとのご意見について、生物多様性ふるさと川西戦略評価指標の中で進捗状況を計り、部会「生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会」で報告しております。

また、第3次川西市環境基本計画で、「再生可能エネルギー電力比率、消費した電力量の中で再生可能エネルギーの比率の、目標値を是非検討していただ

きたい」とご意見をいただいた内容につきましては、国の第6次エネルギー基本計画等を参考に取組んでいけたらと考えております。

次に、資料2-2「エネルギー利用・温室効果ガス排出状況等」をご覧ください。第3次環境基本計画に掲載した、当市のエネルギー利用等のデータについて、最新の自治体カルテ等をもとに更新した状況をご報告させていただきます。

資料の左上、本市の温室効果ガス排出量の削減目標の、2021年度をご覧ください。川西市の2021年度の温室効果ガスの排出量は、2013年度比で32%の削減となっております。

つぎにその右側「部門・分野別の温室効果ガス排出量の比較」をご覧ください。川西市の部門・分野別の温室効果ガス排出量は、2020年度に比べ、6千tCO₂の削減となっております。

また、中ほど「再生可能エネルギーの導入状況」をご覧ください。これは、FIT・FIP制度の事業計画認定の状況を記載したものです。既導入分は、2024年6月末では、2022年9月末より517件増加し、導入容量は4.773MW(メガワット)増加しています。既存計画分は、2024年6月末では、2022年9月末から88件減少し、導入容量は6.756MW(メガワット)の減少となりました。

資料の一番下の表、参考「本市のエネルギー需要量」をご覧ください。

表の左側ですが、2021年度の電力量の合計は2020年度より28GWh(ギガワットアワー)の増加、エネルギーの共通単位で表すと352.3TJ(テラジュール)の増加となりました。

その右側ですが、電力以外のエネルギーである、石炭、石油、ガス、蒸気熱等の燃料・熱の需要量は、2020年度と比較し488.7TJ(テラジュール)の増加となりました。一番右側、電力と熱量・熱を合わせた全エネルギー需要は、2020年度と比較して、年間840.9TJ(テラジュール)増加しています。

次に、資料2-2「エネルギー利用・温室効果ガス排出状況について(補足)」をご覧ください。これは、資料2-2の下段の「参考：エネルギー需要量について」の各区分における、電力と熱・熱量のエネルギー需要量を円グラフにしたものです。電力の単位は、TJ(テラジュール)に換算した数字を使っています。

円グラフの見方ですが、例えば、2020年度の円グラフで、ピンク色で示している部分に、「製造業(電)」と記載していますが、これは、製造業の電力エネルギーの需要量を示しています。区分の後ろに熱と記載しているものは、燃料・熱エネルギーの需要量を示しています。

表の左側、川西市のエネルギー需要量をご覧ください。上が2020年度、下が2021年度の状況です。

川西市では、2020年度と2021年度ともに、家庭部門と業務その他の部門

が、電力需要、燃料・熱エネルギー需要量ともに多く、運輸部門の燃料・熱エネルギー需要量が多い状況となっております。

右側の「近隣市のエネルギー需要量」をご覧ください。自治体カルテ等での2021年度の宝塚市と伊丹市のエネルギー需要量を表しています。宝塚市のエネルギー需要量の各部門の割合は、川西市とほとんど変わりませんが、伊丹市は、製造業における熱量・熱エネルギー需要量が全体の半分という状況でした。

説明が続きますが、委員の皆様にはこの部分で、取組み方や分析方法などがあれば、ご意見や助言をお願いしたいと考えております。

次に、資料23「地球温暖化対策関連(民間企業等との連携)について」をご覧ください。前回の審議会で、本市における市民、企業、市等の市内における温室効果ガス削減の取組みの見える化を進めるにあたり、第3次川西市環境基本計画に記載する事業者等について、一定のルールや仕組みを作り、公募していくことを説明しておりました。この件について、現状を報告いたします。

資料の左上、枠囲いをご覧ください。公募する事業者を、「川西市ゼロカーボンシティーパートナー」としてしています。また対象条件を、 から の4つとしました。

がAB両方、またはAかBどちらかの取組みが出来ること。なお、Aは温室効果ガス削減に関する取組み、Bは環境・自然にかかる啓発活動です。

が自社の取組みを実施し、毎年取組みの実績を報告できること。

が適宜、川西市の脱炭素化に向け市と協力して取組みができること。

が反社会勢力等でないことです。

また、その下の枠囲い「川西市ゼロカーボンシティーパートナー企業等申請等の流れについて」をご覧ください。流れとしては、パートナーとなる企業を公募し、各企業から申請をいただいた後、市で審査・登録を行います。

パートナーとなった企業には、毎年川西市内での温室効果ガス削減の取組みや環境・自然にかかる啓発活動を報告していただきます。

また、パートナーとなった企業の取組みや温室効果ガスの削減量を、市ホームページ上で公開します。公開する際には、市のホームページから、企業の環境の取組みのページに繋げることを考えております。将来的には、企業同士で情報共有を行う場を設けたりして、企業間の連携が生まれるなど、温室効果ガスの削減が広がるようにできればいいと考えております。

同じ資料の、右側をご覧ください。企業が申請する時に、市に提出する書類のイメージです。申請時には、申請書、反社会的勢力でないことを証明する誓約書、取組み内容を記載する資料を出していただきます。

資料の右側の下段「取組み内容」の書類をご覧ください。前回の審議会で委員から、「まず参加していただくために、消費電力と燃料消費量を記録してく

ださい」、「記録するのに協力してください」、「記録して自分で考えていきましょう」という方針で行い、「表彰してあげて下さい」というご意見をいただきました。

ご意見をもとに、パートナー企業が行う取組みについて、温室効果ガス削減に関する取組みについて、上段「温室効果ガス削減量を数値化できる取組み」に加えて、その下「現時点で数値化が困難なもの」を記載できるようにしました。

現時点で温室効果ガスの削減量が出せない企業でも、エネルギー使用量の可視化を行っている場合などは、文章で取組みを記載していただき、取組みを進めていく中で、将来的に温室効果ガス削減量を出していただくことを想定しています。

次に2ページ目の左側「川西市ゼロカーボンシティパートナー企業の証」をご覧ください。企業から申請資料を提出いただいた後、市でパートナー企業として登録するかどうかを審査します。市が登録することを決定した企業には、この証を送付します。この証を事務所等に飾っていただくことで、市民の方に、環境のために取組んでいる企業であることが分かるようであればと考えています。

右のページをご覧ください。実績報告書のイメージです。毎年、企業には前

年度の取組みについて、この報告書に記載して提出いただきます。その後、市で各企業の報告書を取りまとめて、市のホームページ上で取組みの内容を掲載していくことを考えております。

以上で、「地球温暖化対策関連(民間企業等との連携)について」の報告を終わります。

その他、前回の審議会で、「気温が高くなっているにも関わらず、体育館に冷房が付いていない。地道に再エネを学校に導入する計画をぜひ考えていただきたい。」とご意見をいただきました。担当課に確認したところ、「猛暑時などの児童生徒の熱中症予防を目的に、令和7年度に、市内全ての小・中学校の体育館に空調設備を整備する。また、学校施設に限らず公共施設の維持管理や整備を実施する際は再エネの導入など効果検証を行い検討する。」ということですので。

以上が説明となります。委員の皆様には、特に、資料2-1「川西市環境基本計画 進行管理表」における効果的な取組み方や、資料2-2「エネルギー利用・温室効果ガス」の分析方法や温室効果ガス削減の取組み方法について、ご意見や助言をお願いできればと考えております。

会長

それでは、議事 「川西市環境基本計画について」何かご意見等ございましたらどうか。

<p>委員</p>	<p>川西市ゼロカーボンシティパートナー企業についてですが、民間企業が集めたデータを報告、共有してもらい、見える化を図るとするのは、素晴らしい取組みで、ぜひ頑張ってもらいたいです。</p> <p>とても良い取組みなので、資料 2-1 の指標の一つとして、「市役所が直接管理している施設の電気と熱の消費データの収集と管理に取組む」を加えるのはどうでしょうか。</p> <p>前回の環境審議会で、再生可能エネルギー電力の目標を立てて欲しいと言いましたが、温室効果ガスを 50%削減するという目標は、なかなか高い目標なので、再エネ電力の目標を先に立てるのではなく、まずはデータを丁寧に集め、そこから段階的に目標を作っていくという形にしたほうが良いと思います。そうすると、この川西市ゼロカーボンシティパートナー企業の取組みも生きてくると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、市が管理している建物のエネルギー量については、環境率先行動計画、地球温暖化対策実行計画の事務事業編で集計をしています。</p> <p>一方で、今回環境基本計画を策定した際には、地球温暖化対策実行計画の区域施策編を盛り込みましたが、なかなか市内の皆様の頑張りが見える化出来ず、何とか見える化していこうということで、パートナー企業というものをつくらせていただいています。</p>

<p>委員</p>	<p>実際にデータ収集はしていますが、資料 2-1 に加えるのがいいのかどうかについては、考えていきたいと思っております。</p> <p>パートナー企業の件ですが、企業が集まって、取組み状況を報告し合うというような、横のつながりがほしいです。市と企業のやりとりだけでなく、企業間で情報共有をする。市はこういう技術があるとか、こういう補助金があるといった情報を共有することで、パートナー企業になることのメリットを提示してあげてほしいです。</p> <p>また、資料 2-2 補足について、この資料を作った目的は何かを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>パートナー企業の件について、委員がおっしゃったようなことを現在考えています。各企業の取組みを共有することで、「こういうことが脱炭素に繋がるんだ」と知っていただき、パートナーとなるきっかけが生まれたり、企業が抱えている悩みを他の企業ではこう解決している、ということ共有することで、企業間のつながりが生まれたりという期待をしています。</p> <p>募集にあたっては、各担当者のメールアドレスの共有や、もう少しパートナー企業が集まってきた際には、企業間交流ができる場を設けるなどを将来のビジョンとして考えています。初めての取組みですので、段階的に進めていければと思っています。</p>

委員	<p>八尾市では、既に情報提供の機会として、協議会として企業が集まる場を設けるといった取組みを積極的にしているので、そういうものを参考にしてもらえればと思います。</p>
事務局	<p>八尾市のことについては資料上でしか理解していませんが、グリーン購入やグリーンネットワークという形で元々企業体があり、それがステップアップしていったという構造なのかなと思います。</p> <p>ただ、そうしたつながりの場が必要だと思うので、企業だけでなく、様々な方のプラットフォーム的な役割を担えたらと思います。</p> <p>また、資料 2-2 補足についてですが、川西市では、初めて地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定しました。まさに委員の皆様にも 1 年間というタイトなスケジュールでご意見をもらいながら策定しましたが、1 年が経って、新しく自治体カルテが出てきて、数値としては見えてきましたが、この表をどのように活用していき、どのような取組みに使っていけるのかというノウハウが十分ではないので、皆様から「こうアプローチしていくのが良いのではないか」といった忌憚のないご意見、自由なアイデアをもらえればと思い、資料 2-2 補足のような円グラフを示させていただいています。</p>
委員	<p>2020 年度はコロナもあり、特殊な年なので、もう少し先の年度まで調べるべきだと思います。</p>

委員	<p>また、川西市では、家庭部門の電気と熱が割合として大きいので、市民の皆様がこれらを削減することが川西市の成果に大きく寄与するという事実を市民の皆様へ伝え、工夫して削減してもらうよう協力を得る、という流れで行うと良いと思います。</p> <p>パートナー企業の件ですが、どのように募集をかけるかということも戦略として必要だと思うので、その辺り何か計画を立てているのでしょうか。また、川西市の中で、どの部分をどのように削減していくのかという議論が必要だと思います。全体を評価することも大事ですが、例えば人口比でどうなっているのか、企業数の比でどうなっているのかといった、単位ごとの評価もやってもらえたらと思います。</p>
事務局	<p>パートナー企業についてですが、環境基本計画を策定する際に、様々な企業の方から一緒に何かできないかというお話をいただいていた。そのような形で、計画を作る段階からつながりをつくることができたので、そういった企業には直接案内をしようと思っています。もう既に担当レベルでは、「こうした形であればパートナー企業になれるよ」というような話はもらっています。一方で、市内では中小企業も多くあるので、そういった方々にも積極的に参加いただきたいというところで、商工会などには足を運んで説明させていただきながら、ご協力いただこうと思っています。</p>

<p>委員</p>	<p>また、資料 2-2 補足の円グラフについては、参考にさせていただきながら、分からないところは別途ご相談させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>消費量が多い事業者に声をかける際には、「事業所面積などが一定規模以上の企業には入っていただきたい」といったことを伝えてもらいたひです。燃料を販売している事業者など、供給業者さんはどれだけ販売しているかというデータを持っているので、協力してもらひようお願ひしてもらひたいひです。</p> <p>また、資料 2-2 補足の円グラフを見て、川西市の家庭部門では、電気より熱の方が多ひと知りました。これは暖房の影響だと思ひるので、家庭の暖房をどう省エネにするかということをお燃料供給事業者などに聞き、アイデアをもらったり、ビル省エネについては、住宅メーカーや建設メーカーに協力してもらったりして、省エネの取組みについて意見交換、情報収集をお願ひしたいひです。製造業は熱が多ひので、燃料をどのように使っているか等を大口の事業者に聞くというところから始めるべきだと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>積極的に企業に声をかけることと、家庭については、家の構造を考へることが大事だと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>窓を二重にするという断熱がとても効果があります。そしてそういう補助を出している自治体もあります。こういう工夫ができ、その工夫が光熱費を</p>

	<p>下げることにつながるということを市民の方に伝えていただければと思います。</p>
委員	<p>進行管理表の環境学習の件ですが、指標 29、30 について、小学校 4 年生だけでなく、3 年生の推移も分かるようにしてほしいです。</p>
事務局	<p>前回の環境審議会でもお話ししましたが、この部分の内容は、生物多様性の進捗状況調査の方で細かく記載しています。環境学習などの取組みについては生物多様性の方で深掘りをしながら話を進めていければと思っています。ただし、数値の記載がないため、そこについてはこういった表現が良いのかなど検討していきます。</p>
委員	<p>ごみの減量、ゴミ袋の有料化の現状を教えてください。</p>
所管課	<p>ごみの減量状況についてですが、令和 4 年度の市民一人あたりごみ排出量が 822 g、令和 5 年度が 800 g、令和 6 年度の 12 月までの実績値を用いた、年間の推計が 788 g で、徐々に減少していています。その中で、令和 13 年度に 755 g という目標値があるので、現在大体半分くらい減量ができているという状況です。計画が令和 13 年度までなので、この調子で減量していくと、目標値の達成ができる見込みです。このような背景から、ごみの有料化については一度様子を見ようということになりました。ただし、ごみが増量又は横ばいとなるなど、目標値の達成が難しくなってきた際には、ごみの有料化を実施に移</p>

<p>委員</p>	<p>していくという流れになっています。</p> <p>4、5年前に家の窓を二重窓にしましたが、非常に効果があります。特に冬は、窓を開けると非常に冷たい風が流れてくるのが分かり、昔はこんなに寒い環境で過ごしていたのかと感じます。また、結露がしなくなりました。ただ、そうした断熱に対する補助について市民はあまり知らないのが現状です。市からどんどんアピールすべきだと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>生の声をいただき、ありがとうございます。</p> <p>高断熱の補助金については、国が県で一定の条件を満たしている場合に補助するというものがあったのかなと思っていますが、現在市では無い状態です。ただ、補助金の情報は発信していかなければと思っています。また、環境基本計画を策定し、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定した時に、市民の皆様や事業者に啓発をしていくため、資料を作成しました。ただ、なかなか普及しない中で、今おっしゃったような生の声が響くのではないかと考えています。「実際やってみたらとても効果があった」といった声を啓発の中で上手く生かしていければと思いながらお話を聞かせていただきました。</p>
<p>委員</p>	<p>とても説得力のあるお話でした。</p>
<p>委員</p>	<p>関西電力の電力消費量のグラフが毎月送られてきますが、二重窓を設置してからは、消費量が1割くらい下がったりと、顕著に成果が出たと思います。</p>

委員	<p>福祉関係の部局にも協力してもらい、進めてもらいたいです。古い住宅に住んでいる高齢者が多くおり、エアコンを付けないことが原因で、熱中症になるというケースがあります。貧困対策の一環として、冷房を入れさせてあげられるようにすることは、エネルギー貧困の観点からも非常に大事です。高齢者の低所得層に対して、断熱の補助をすることは福祉施策の観点からも効果があります。何か支援ができないか議論してほしいと思います。</p>
会長	<p>続きまして、議事 「川西市環境率先行動計画推進本部会議について」事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>川西市環境率先行動計画の内容となりますが、本市において環境率先行動計画は地球温暖化対策の事務事業編と位置づけており、環境基本計画にも深く関わる内容ですので、報告させていただきます。</p> <p>令和7年3月17日に実施した川西市環境率先行動計画推進本部会議の議題の一つとして、「グリーン購入について」の報告を行いました。</p> <p>資料31「平成12年4月実施：川西市グリーン購入ガイドライン」をご覧ください。川西市では、川西市グリーン購入ガイドラインに基づき、グリーン購入を実施しておりますが、平成12年度から一度も改訂されておりません。</p> <p>こうしたことから、現在の環境ラベルに対応したものではなく、また文章だけで構成されていることから、担当職員にとって何を基準に物品等を購入すれば</p>

いいか分かりにくいものとなっております。

令和7年度には第6次環境率先行動計画を策定する必要があることから、策定に併せてグリーン購入ガイドラインも更新していく予定としております。

資料3-2「川西市グリーン購入調達方針(イメージ)」をご覧ください。現在、先進市である栃木市のグリーン購入調達方針や西宮市のグリーン購入推進ガイドラインを参考に策定しているところです。

ページが飛びますが、資料中央下に6とある6ページをご覧ください。できあがる物のイメージですが、対象品目に対して「判断の基準となるラベル等」に優先順位を付けて、グリーンマークやエコマークを掲載しております。各課で対象品目を購入する際は、出来るだけ優先順位1のマークが付いている商品を選択し、出来ない場合は優先順位2のものを選択していただくこととなります。

次に資料33「川西市グリーン購入調達品目及び調達目標(イメージ)」をご覧ください。本来であれば、全ての品目について、グリーン購入の調達目標を立てて取り組むべきところですが、そうすると、市職員の負担が大きくなります。このため、赤枠で示している部分ですが、実績報告が必要な調査対象品目については限定していくことを考えています。今後、調査対象品目は、各所管課の意見を参考にするなどして決定する予定としています。

	<p>次に資料 3-4「グリーン購入実績集計表(各課報告用)(イメージ)」をご覧ください。調査対象品目については、毎年実績報告書を作成していくことが必要となります。このため、各課で、調査対象品目を購入した際には、グリーン購入実績集計表に、購入した品目や数量等を入力するなどの対応が必要となります。</p> <p>先ほども説明しましたが、この点が、各課への大きな負担となるため、調査対象品目は全項目ではなく、限定していくこととします。</p> <p>以上で、議事 「川西市環境率先行動計画推進本部会議について」の報告を終わります。</p>
会長	<p>それでは、議事 「川西市環境率先行動計画推進本部会議について」何かご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>グリーン購入ですが、きちりやろうとすると、現場の職員の方の、負担がとても大きくなりますが、行政が購入すると、市場に対する大きな力があることは確かだと思うので、ぜひ効果が上がるような取組みにしていだけたらと思います。</p> <p>なお、情報提供ですが、4月に、大阪のグリーン購入ネットワークがグリーン購入ネットワークセミナーを行うので、よければ参加していただき、国の方針の改定など、参考にしていだければと思います。</p>

会長	<p>グリーン購入の対象は市役所だけでなく、小中学校も含まれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>まだ固まっている訳ではありませんが、小中学校や保育園も含めて取組もうと考えています。</p> <p>一方、指定管理を行っているところは、強制ではなく、できるだけ市に準じてもらうという形になるとイメージしています。</p>
会長	<p>続きまして、「次第3、その他」です。何かございませんか。</p>
事務局	<p>前回の審議会で、環境率先行動計画の結果に関して、委員の皆様には病院施設の電気使用量が増加した理由について、病床数等の増減を追加してはどうかという意見をいただきました。1病床数あたりの電気使用量は増えていましたが、入院患者数1人あたりの電気使用量は減少している状況でした。このため、川西市環境率先行動計画推進本部会議で、病院施設の電気使用量は増加しているが、入院患者1人あたりの電気使用量は減少していると補足して報告を行いました。</p> <p>次に、審議会の今後の開催回数や時期についてです。</p> <p>審議会の開催回数は、基本、年2回とし、開催時期は9月頃と2月頃を予定しております。</p> <p>9月頃の第1回審議会では、各施策を行う所管課の課長等に出席してもら</p>

い、前年度評価指標、進捗状況について報告させていただき、それに対して、委員からのご意見やご助言を頂戴したいと考えております。そのご意見等について各施策担当所管で検討し、実施計画や予算要求につなげていければと考えております。次に、2月頃の第2回審議会では、実施計画、予算要求を経て内容に変更があった施策について、変更点を踏まえて次年度の取組みについて報告させていただくとともに、9月の審議会で議論が持ち越された内容について、再度議論を行えればと考えております。

第2回審議会では、基本的には報告の内容となることから、事務局より報告をさせていただき、委員から出たご意見やご助言は、事務局より担当課へフィードバックすることとさせていただきたいと考えております。なお、第1回の議論の持ち越しや、所管課の方から委員に相談やご助言をいただきたい場合などには、担当課も出席させていただければと考えております。その他、急を要する案件が出た際などには会長に相談のうえ、臨時会を開催させていただければと思います。

以上で「その他」の説明を終わります。

会長

他に何かございませんか。

他に無いようでしたら、「次第3、その他」について終わります。

それではここで司会を事務局にお返しします。

事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、事務局代表より一言ご挨拶申し上げます。</p>
事務局	<p>本日は大変熱心にご議論いただきありがとうございました。生物多様性の件ですが、市民環境部は部署が多く、生涯学習課もその一つです。生涯学習課では指定文化財などを担当しています。指定文化財である黒川の台場クヌギの損傷届が出され、現地に職員が見に行ったところ、クワガタの幼虫を採取するために損傷したという状況でした。クワガタ等の幼虫を採取して、商売目的ではなく、育てていくということは、悪いことではないと思いますが、一方で、指定文化財を損壊することになります。自然はそのまま置いておくということが重要だと思うので、どう阻止できるのかということは今後考えていかなければと思っています。</p> <p>また、家の断熱のことですが、実際私自身も2年前にマンションをリフォームし、二重サッシにしました。やはり非常に断熱効果が上がり、快適で、非常にすごいことだと思いました。市としても「国の補助金があります」というような形で周知して参りたいと考えています。</p> <p>本日はありがとうございました。次回もよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>以上を持ちまして、令和6年度第2回川西市環境審議会を閉会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。お忘れ物の無いよ</p>

うに、気を付けてお帰り下さい。尚、受付の際、駐車券をお渡し頂いた方は、お返ししますのでしばらくお席でお待ちください。